

令和4年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

# 科目名：政治史・政治思想

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに各2問ずつ、計3ページで6問ある。

1. 政治思想史
2. 政治史
3. 日本政治外交史

6問から2問を選んで解答すること。

1問につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名、問題番号を記入すること。

科目名 政治史・政治思想 出題分野名 政治思想史

**問題 1** 一般意志を中心とするルソーの政治思想については、「近代民主主義の父」と「全体主義の祖」という正反対の評価がなされてきたが、あなたはどうか考えるか。  
かならず複数の思想家に論及しつつ、論述しなさい。

**問題 2** アイデンティティおよびその承認という主題が、現代政治理論のなかでどのように議論されているか、論述しなさい。自分の考えをまじえてかまわないが、かならず複数の理論（家）に言及して、できるだけ多角的に論じること。

科目名 政治史・政治思想 出題分野名 政治史

**問題 1** ドイツ第二帝政の成立が、19 世紀後半から 20 世紀初頭のヨーロッパにもたらした影響について、国際システムと国内の統治構造の両側面から論じなさい。

**問題 2** マーシャルプランに対するヨーロッパ各国の対応と、冷戦の進行について、具体的事実に触れながら論じなさい。

科目名 政治史 出題分野名 日本政治外交史

**問題 1** 辛亥革命からパリ講和会議までの日中関係がどのように展開したかを、歴史的  
事実に基づいて論じなさい。

**問題 2** 第二次世界大戦後の賠償問題に日本政府はどのように取り組んだか。サンフラン  
シスコ講和会議での取り扱いや諸国との関係に留意しながら、歴史的事実に基づいて論じ  
なさい。